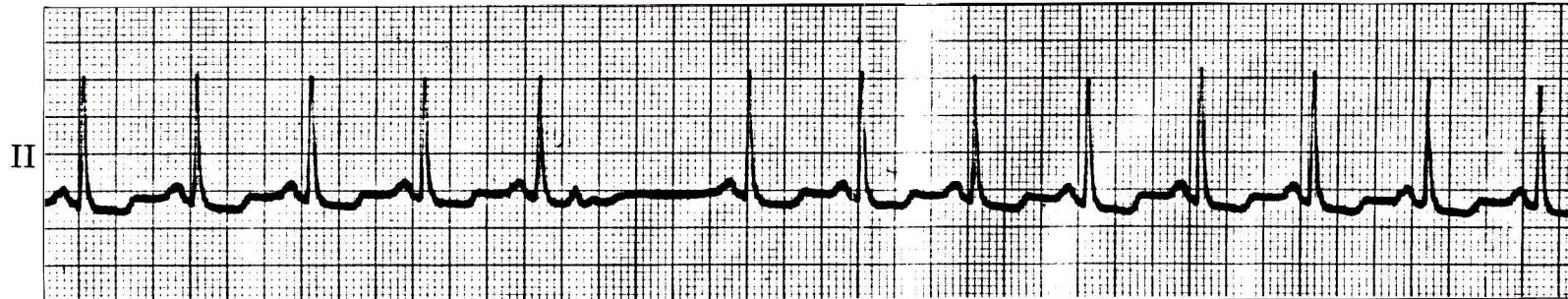


# 症例 17

●66歳 男

5年前より労作性狭心症で加療されていたが、甲状腺腫瘍を発見され、  
精査加療のため入院した。



- 1) 第5拍目と第6拍目の間が他より少し長くなっている、なぜか。

## 心電図診断

## 上室性期外収縮(伝導されなかったもの)

第5番目のQRS波の直後に小さいが鋭いフレ(↓)。これはP波である。  
 そのPP間隔は他のPP間隔より短い。  
 そのP波にはQRS波が伴っていない。

## 解 説

③

上室性期外収縮があまり早期に出現すると、房室伝導路が先行収縮の不応期からまだ回復せず、心室まで伝導されない。したがってP波のみとなり、QRS波は脱落する。 Mobitz II型のブロック（症例53参照）と鑑別を要するが、その場合はPP間隔が短くならない。

臨床的には一般の上室性期外収縮と同じであり、散発するものは経過観察にとどめてよい。

